

令和4年度



# 大三小だより

3月号

令和5年2月28日  
大田区立大森第三小学校  
校長 吉成 美紀

ホームページアドレス oomoridai3-es.ota-school.ed.jp

## バトンゾーンの3月

校長 吉成 美紀

冷たい風の中にも、春の日差しの暖かさを感じる頃となりました。正門の花壇には、チューリップの芽が出てきています。また、梅の花が咲き始め、桜のつぼみは膨らんできています。

2月に行いました「体育健康教育授業地区公開講座」には保護者、地域の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。また、3校時の講演会にもオンラインでのご参加をいただきました。講演会では、理学療法士 菊地 耕先生のご講演とともに今年度1年間取り組んでまいりました健康教育の実践報告をさせていただきました。「自分の身体のこと、健康について知り、学ぶことの大切さを実感しました。」「家庭でも健康について話す機会となりました。」といったご感想を頂戴しました。オンラインについては、聞き取りづらかった、画面が見にくかった等のご意見もいただきました。改善をしていく等今後に生かしていきたいと思えます。健康教育は、来年度も継続していきます。今後も、ご家庭で健康についてお話をさせていただく機会をもってくださるようお願いいたします。

さて、令和4年度も残すところあと18日。この一年間子供たちは、めざましい成長を遂げてきました。どの学級も落ち着いて学習に取り組むことができている。また、2月実施の漢字検定では、多くの児童が目標の級に合格するなど練習の成果が出ていました。3月は、いよいよ一年の締めくくりをしっかりと行って次年度につなげていく時期となります。また、大三小のリーダーとして活動してくれた6年生はいよいよ卒業を迎えることとなります。この一年の成長を自信にして、さらに力をつけていってほしいと思えます。

## バトンゾーンの3月に

3月は、次の学年へ自分のバトンを渡す月でもあります。併せて、6年生が5年生へ、5年生は4年生へと、学校全体でバトンを引き継ぐ月にもなります。一人一人がバトンをしっかり受け取り、バトンを渡してくれた相手に少しでも近づこうと努力し、丁寧にバトンをつなぐ。この繰り返しが、「伝統を守り、伝統を創る」ということだと思えます。そして、このバトンには、保護者や地域の方々等、多くの方の思いや願いが込められています。今年度98周年を迎える大三小、今後も感謝の気持ちを忘れず、バトンをつなげていきます。

最後になりましたが、この一年間本校の教育活動に対して、ご理解とご支援を賜りましたこと心より感謝申し上げます。今後も子供たちの健やかな成長のために教職員一同一丸となって取り組んでまいります。次年度もどうぞよろしくお願いたします。

## 3月の行事予定

日	曜	朝の活動	行 事	補習	SC
1	水	学	4時間授業		○
2	木	朝会	開校記念日98周年		○
3	金	読書	保護者会1・2・3年 5時間授業 郷土資料館出前授業3年		
4	土				
5	日				
6	月	朝会	自転車教室6年		
7	火	安全		1・6年	○
8	水	学ハ	ハッスル高 読み聞かせ6年		
9	木		避難訓練(火災)		○
10	金	読書	読み聞かせ1・3年	3・4年	
11	土		土曜授業4時間授業 卒業を祝う会6年 足の健康教育4年 食育授業5年		
12	日				
13	月	朝会			
14	火	学			
15	水	学			○
16	木	音朝			
17	金	読書	大掃除 読み聞かせ2・4年		
18	土				
19	日				
20	月	朝会	給食終 卒業式予行練習		
21	火		春分の日		
22	水	きまり	4時間授業		
23	木		卒業式		
24	金		修了式 4時間授業B時程		
25	土		春季休業日始		
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				
31	金				

## 3月の生活目標 「1年間のまとめをしよう」

生活指導部 前田 貴史

年度末は各学年の学習で、学年の積み残しがないよう、1年間のまとめに取り組んでいます。学校生活についても、この1年間、集団生活を送る上での規律や望ましい行動がとれたかどうかの気付きなど、振り返る活動を行っています。残り1か月をしっかりと締めくくり、新年度を気持ちよく迎えられるよう、ご家庭でも基本的な生活習慣等についての見直しを行っていただければと思います。

**<お知らせ>** 現在大田区の小中学校では、登下校に用いる携行手段について、子供の負担を鑑み、安全性や防水性等を考慮した上で、ランドセル以外のリュックサック等の携行手段も使用可能であることとしております。「両手が空き、登下校の際の安心・安全が確保できること」が第一であると考えます。今後もランドセル以外の携行手段も使用可能となります。携行手段について、お子さんと話し合ってお下校時の安全・安心の確保をお願いいたします。